

平成 30 年度

東京農工大学・カリフォルニア大学デービス校

ダブルディグリープログラム 募集要項

本学とカリフォルニア大学デービス校との協定に基づくダブルディグリープログラムに参加する学生を下記の要領で募集します。

本学とカリフォルニア大学デービス校（UCデービス）は 2002 年に大学間連携協定締結以来、数多くの教育連携プログラムを実施しております。それらの実績と成果を基盤として、修士課程を対象としたダブルディグリープログラムが設置され、平成 27 年度から募集を始めることとなりました。UCデービスのコースワークを重視した MSII プログラム（9 ヶ月）と本学の研究重視の修士課程（2 年）それぞれの特色を生かした学位プログラムで、最短 2 年間で両大学から 2 つの修士号が授与されます。

1. 派遣先：アメリカ合衆国・カリフォルニア大学デービス校（UCデービス）

2. プログラム概要：本学在学期間中に UC デービスに 9 ヶ月留学し（基本モデル：平成 31 年 10 月 1 日～平成 32 年 6 月 15 日）、両大学から修士学位を習得するプログラムです。本学入学から修了までは、留学期間を含めて合計 2 年～3 年です。UC デービスにおいては「MSII プログラム」を受講し、24 単位（コース科目）、12 単位（研究）を取得する必要があります。

3. 募集人員：若干名

4. 本学における応募・選考

(1) 応募資格（留学生も対象になります）

- ①平成 31 年 4 月に農学府・工学府・生物システム応用科学府への進学を予定している者
- ②平成 31 年 4 月時点で、修士課程、博士前期課程、一貫制博士課程(1～2 年)、専門職学位課程に在籍を予定している者
- ③学業の優秀な者
- ④以下のいずれかの英語力を有する者
 - ・TOEFL (PBT 550 点(ITP でも可)、 CBT 213 点もしくは iBT80 点)以上

※UC デービスでは、TOEFL (PBT 600 点 (ITP 不可)、 CBT 250 点もしくは iBT100 点) 以上が求められています。応募時に基準に満たさないものは、UC デービスエクステンションで開講する 4 週間の英語コースもしくは他の英語クラスを受講し、TOEFL を再受験して、留学時まで、要求される英語能力を満たす必要があります。

指導教員および専攻長（4 年生の場合は進学を予定している専攻）と良く相談すること。
また、留学中に就職活動などを行うことはできない場合があるので、留意すること。

(2) 本学での応募書類

- ①申請書（様式 1）

- ②成績証明書:学部4年生は3年次までの、大学院1年生は学部時の成績証明書
- ③英語力を証明する書類 (TOEFL のスコアレポートコピー可)
- ④研究指導教員の研究指導計画書 (様式任意)
- ⑤所属専攻長の確認書
- ⑥UC デービスにおける希望する受け入れ教員の連絡先リスト
(氏名, 所属学科 (専攻), 研究分野, e-mail アドレス, 研究室 URL 等)
- ⑦研究指導教員の推薦書 (様式任意)

(3)応募・選考スケジュール (

出願期間:平成30年9月4日(火)~平成30年9月10日(月)

申請書提出先:府中キャンパス :学生支援室教務係(農学部・農学府生)

小金井キャンパス :学生支援室教務係(工学部・工学府・生物システム応用科学府生)

第一次選考(書面審査):合格発表 平成30年9月21日(金)頃

第二次選考(面接審査):平成30年9月26日(水)12:15より府中キャンパスで開催

本学における選考結果通知:平成30年10月上旬

(4)選考基準

第一次選考:書面審査

学力、語学力、申請書等から総合的に評価します。

第二次選考:面接審査

研究素養、研究プラン、意志力など本プログラム生としての資質を評価します。志望動機、卒業研究もしくは大学院における研究概要(大学院在籍者)、US デービスでの教育・研究における目標、将来展望が問われます。また、研究指導教員との本プログラム参加に関する協議状況も問われます。

5. UC デービスにおける選考

本学における選考で合格とされた者は、本学のプログラムコーディネーターと相談の上、平成30年10月中旬~平成31年3月下旬頃までに、自ら UC デービスに入学申請手続きを行うことが必要となります。

志望する専攻によって、必要とする書類、選抜方法が異なりますので、各専攻の Application 等を下記で必ず確認してください。2019年度入学生用のフォームは、9月末頃公開予定です。

Admissions & Application

(<https://gradstudies.ucdavis.edu/prospective-students/admissions-application>)

International Applicants

(<https://gradstudies.ucdavis.edu/prospective-students/international-applicants>)

UC デービスにおける応募書類例 (専攻ごとに異なる場合があります)

①TOEFL スコア

②GRE スコア (<http://www.ets.org/gre>参照。)

③成績証明書(Transcript)

④3名の大学教員からの推薦状

⑤エッセイ

エッセイ1:大学院への志望動機

エッセイ2:個人的なこれまでのバックグラウンド

最終選考結果：UCデービスから最終合否結果が3月までに通知される予定です。

6. 履修スケジュール（最短のモデルケース）

(1)平成31年4月に本学大学院に入学する学生（産業技術専攻を除く全専攻）
 (農工大1年3ヶ月、UCデービス9ヶ月)

平成31年		平成32年			平成33年
4月	10月	4月	7月	10月	3月
農工大	UCデービス	UCデービス	農工大	農工大	

(2)平成30年4月に本学大学院に入学した学生（産業技術専攻を除く全専攻）
 (農工大1年9ヶ月、UCデービス9ヶ月)

平成30年		平成31年		平成32年		
4月	10月	4月	10月	4月	7月	9月
農工大	農工大	農工大	UCデービス	UCデービス	農工大	

(3)平成30年10月本学大学院に入学する学生(農工大1年9ヶ月、UCデービス9ヶ月)

平成30年		平成31年		平成32年		平成33年
10月	4月	10月	4月	7月	10月	3月
農工大	農工大	UCデービス	UCデービス	農工大	農工大	

※産業技術専攻（専門職学位課程）の場合、修了までに4年を要します。

7. 本プログラムに参加しているUCデービスの修士課程

- ・ Agricultural and Resource Economics (Master of Science)
- ・ Biological Systems Engineering (Master of Engineering)
- ・ Chemical Engineering (Master of Science)
- ・ Food Science (Master of Science)
- ・ Horticulture and Agronomy (Master of Science)
- ・ Hydrologic Sciences (Master of Science)
- ・ International Agricultural Development (Master of Science)
- ・ Materials Science and Engineering (Master of Engineering)
- ・ Soils and Biogeochemistry (Master of Science)
- ・ Transportation Technology and Policy (Master of Science)

10月の出願時までには、志望するUCデービスの専攻及び指導教員を決めておく必要がありますので、各自でプログラムに参加している専攻の情報を確認してください。

※志望する指導教員には、事前に受け入れについて連絡を取っておくことが望ましい。

UCデービス Graduate Programs

<https://gradstudies.ucdavis.edu/programs>

8. 費用

(1) 学費

本プログラムに参加する学生は、UC デービスに学費を払う必要があります。(平成 29 年度 UC デービス学費：年間約 400～500 万円)

日本学生支援機構の実施する、トビタテ！留学ジャパン日本代表プログラムや海外留学支援制度（大学院学位取得型）等の奨学金への応募を推奨します。

URL

(2) 旅費および現地滞在費

渡航費用および現地滞在費は、原則として自己負担となります。

(3) 海外保険

本プログラムに参加する学生は、必ず本学指定の海外保険に加入してください（自己負担）。

9. 問い合わせ先

東京農工大学 学生総合支援課 TEL : 042-367-5542 E-mail : gakkyom1@cc.tuat.ac.jp